

卒後研修で作上げた治療スタイルと、病気にならない 身体づくりが私の基本

開業準備のための貴重な時間が卒後研修

学校を卒業してから治療院を開業するまでには9か月ほどの準備期間があり、卒後研修として週に2回、附属臨床実習センターで勉強させていただきました。同時に自宅をサロンとして整え、ここでは友人や身内に限定して治療を行い、そのとき疑問に感じたことや難しかったことは卒後研修で解決。附属臨床実習センターには同期の友人やベテランの先生もいるので、とても心強かったです。卒後研修を通して、年代や性別を問わず多くの患者さんの身体や症状を診ることができたのも貴重な経験でしたが、何より、私が今も行っている治療の基本的な流れは、このときに先生方からアドバイスを受けながら組み立てたもの。卒後研修のありがたみを実感しています。

日々の生活の中に養生を取り入れる

子育てや家事を頑張る女性のための、養生や予防医学といった病気にならない身体づくりを目指した治療院を開業して丸2年。長く通う方も多く、患者さんのプライベートなお話を聞くことも増え、関係性や信頼が深まっているのを日々実感します。治療を通して、お灸や食事、体質に合わせた養生などのアドバイスをさせていただき、治療院に来ているとき以外の過ごし方も含めた生活に寄り添うサポートをするのが私のやり方。病気の治療も大事ですが、病気にならない、なりにくい身体を作ることが大切です。また、2年ほど前から小学生が職業体験として治療院に来てくれるようにもなりました。鍼灸の魅力や鍼灸師という職業が、ますます世の中に広まっていくように頑張っています。



▲ 左:川浪校長、右:竹田さん



昼間部第11期生
(平成26年卒業)

竹田 加代江さん

はり・きゅう・アロマの
まーめいどの森
札幌市西区西野10条8丁目

ご主人を病気で亡くしたことがきっかけとなり、東洋医学の「未病」という考え方に興味をもち、本校への入学を決意。子育てと学業を両立し鍼灸師の国家資格を取得後、平成26年に開業。

